

臨床薬理学

責任者・コーディネーター	薬理学講座情報伝達医学分野 平 英一 教授		
担当講座・学科(分野)	薬理学講座情報伝達医学分野、臨床薬剤学講座		
担当教員	平 英一 教授、入江 康至 准教授、古濱 和久 非常勤講師、樋口 宗史 非常勤講師、近藤 ゆき子 助教、小栗 重統 非常勤講師、工藤 賢三 教授		
対象学年	4	区分・時間数	講義 15 時間
期間	後期		

・学習方針（講義概要等）

薬物治療は現代医療の中で中心的な役割を占めている。治療に有効な薬物を開発し、患者により安全で有効な治療薬を選択するための学問が臨床薬理学である。臨床薬理学は、臨床薬物動態の検討、薬物の開発と臨床試験、そして個人に適した有効治療の確立などがあり、臨床薬物治療学に科学的さらには倫理的側面からもアプローチする学問である。また、臨床薬理学に加え、現在臨床現場で用いられている漢方薬は、長年の経験と知識から漢方医学で確立された治療薬である。

・一般目標（GIO）

医師として薬物治療、薬物開発、臨床試験に参加する際の基本的知識を習得する。また、薬物動態の個人差を理解し、各個人向け治療を実践できる知識を習得する。さらに、漢方薬について分類、処方について理解し、治療に必要な知識を習得する。

・到達目標（SBO）

- 1 薬物治療の際の科学的根拠と、倫理、法律を説明できる。
- 2 薬物の処方について説明できる。
- 3 薬物の毒性について説明できる。
- 4 薬物の開発について説明できる。
- 5 薬物に対する反応の個人差について説明できる。
- 6 臨床的な薬物動態について説明できる。
- 7 薬物間の相互作用について説明できる。
- 8 漢方薬について説明できる。

・ 講義日程

(矢) 西 104 1-D 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
9/30	火	1	薬理学講座情報 伝達医学分野	入江 康至 准教授	臨床薬理総論
9/30	火	2	臨床薬剤学講座	工藤 賢三 教授	開発、臨床試験
10/7	火	1	薬理学講座情報 伝達医学分野	古濱 和久 非常勤講師	医薬品毒性学
10/7	火	2	臨床薬剤学講座	工藤 賢三 教授	薬物動態、代謝
10/14	火	1	薬理学講座情報 伝達医学分野	近藤 ゆき子 助教	薬物相互作用
10/14	火	2	薬理学講座情報 伝達医学分野	樋口 宗史 非常勤講師	肥満
12/2	火	1	薬理学講座情報 伝達医学分野	入江 康至 准教授	遺伝薬理学・個人差
12/2	火	2	薬理学講座情報 伝達医学分野	平 英一 教授	処方
12/5	金	1	薬理学講座情報 伝達医学分野	小栗 重統 非常勤講師	現代医学における漢方の役割
12/5	金	2	薬理学講座情報 伝達医学分野	小栗 重統 非常勤講師	漢方治療の症例紹介

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	臨床薬理学テキスト 改訂2版	植松俊彦、岩本喜久生 編	南江堂	2001
教	専門医のための漢方医学テキスト	日本東洋医学会学術教育委員会 編	南江堂	2010
参	ローレンス臨床薬理学 原著9版	P. N. Bennett ほか著、飯島俊彦ほか訳	西村書店	2006
参	臨床薬物動態学：臨床薬理学・薬物療法の基礎として 改訂4版	加藤隆一 著	南江堂	2009
参	薬の相互作用としくみ 9版	杉山正康 編著	医歯薬出版	2010

・成績評価方法

統合試験による。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
登録済の機器・器具はありません			